

石峰&抱月のふるさと『波佐まるごと博物館』

波佐ネット通信

No. 223 2023.1.29

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会

波佐文化協会

能海寛研究会

ほたる湯館G・ゴルフ場

文化財防火デーに伴う消防訓練

金城資料館自衛消防隊員による防火訓練が、1月28日(土)午前10時から、金城民俗資料館にて、東部消防署金城出張所隊員(三明正道さん・森下智広さん)の指導の下、消防総合訓練を行いました。

訓練終了後、会場を、波佐まちづくりセンターに移動して、AEDを使用して「心肺蘇生法(CPR)」を受講しました。この消防防火訓練は、文化財防火デー(1月26日)にちなみ、昭和51年度から毎年、1月下旬に実施しているものです。



第47回文化講演会について

毎年開催している、文化講演会を下記の通り開催します。今回は、津和野高等学校教頭 阿部志朗氏をお招きして開催します。阿部氏は、島根県地理学会副会長として、江戸末期から明治期の海運による産物の流通を研究されており、今回は、石見の産物の流通をとおして、江戸末期に波佐産出の、たたら鉄が北前船で全国に流通し、明治期には、九州へ流通した経緯をお話しいたします。

記

第47回文化講演会

開催日 令和5年3月4日(土) 午前10時～正午

会場 波佐まちづくりセンター

演題 「統計資料から探る明治期の石見の産物の流通」

—明治30年代の各道府県統計書を手がかりに—

講師 阿部志朗氏

受講料 無料 主催者 西中国山地民具を守る会

令和5年度企画展について

令和5年度の企画展は、「第2次 藍染型紙展」を、6月3日(土)から開催予定です。

江戸末期、波佐地方の紺屋が使用していた型紙500点の内60点を公開展示します。型紙は、突彫、錐彫、道具彫、縞彫の4つの技法が組み合わされて制作されます。地元の型紙、白子型紙、京型紙を展示します。縞柄などは、染色時に模様がずれるため、型の補強の目的で「糸入れ」を行っています。

